



第1日(9月13日) 口頭発表 午前

【A会場】	【B会場】	【C会場】	【D会場】
一般講演「陸水」	一般講演「岩石・地殻」	一般講演「地球外物質」	課題講演2「環境地球化学の 新手法・新指標」
(9:30~10:30) 座長: 垣内正久	(9:30~10:30) 座長: 中井俊一	(9:15~10:30) 座長: 平田岳史	(9:00~10:30) 座長: 高橋嘉夫・谷本浩志 趣旨説明(1北大院理・2広大院理・3国立環境研)○角皆潤1・高橋嘉夫2・谷本浩志3(10分)
1A01 都市河川中・下流域における硫酸還元(東大院総合文化)○中村明日子・久野章仁・松尾基之	1B01 変質作用を受けたジルコンにおける放射性核種の挙動に関する同位体化学的検証(1広大院理・2国立科博)○菊池麻希子1・日高洋1・堀江憲路2	1C01 希土類元素存在度およびMg同位体比によるAllende隕石CAI中のペロブスカイト(1広大院理・2国立科博)○宮崎隆史1・日高洋1・堀江憲路2・米田成一2	1D01 XAFS法を用いた環境化学研究 - 電子収量法、Quick scan法、蛍光分光法の利用 - (広大院理)○高橋嘉夫(20分)
1A02 陸水中の鉄濃度の季節変化-pH、Eh、DOCとの関係(1農工大院農・2九大院理)○石井里実1・赤木右2・楊宗興1	1B02 ラマン分光分析を用いたジルコンのU-Pb年代データの評価(1国立科博・2広大院理)○堀江憲路1・日高洋2・早坂康隆2	1C02 11個の南極産HED隕石の化学組成: 化学組成から見たホルダイトの構成要素(1首都大東京院理工・2極地研)○宝積俊和1・大浦泰嗣1・海老原充1・山口亮2	1D02 六価クロム汚染痕跡調査への状態分析法の適用(1産総研・2横浜国大教育人間科学・3東大院理・4高エネ研)○太田充恒1・津野宏2・鍵裕之3・福良哲史3・野村昌治4・今井登1(20分)
1A03 Pb(PDC)2共沈法を利用した中性子放射化分析による温泉水中のAs価数別定量(上智大理工)○佐野淳子・川井智・木川田喜一・大井隆夫	1B03 高圧下におけるアルカリ塩化物水溶液のその場観察(1京大地球熱学・2京大院理)○川本竜彦1・熊谷仁孝2	1C03 化学組成に基づくユレイライトの形成過程に関する考察(1首都大東京院理工・2極地研・3千葉工大総合研)○高田共宏1・海老原充1・山口亮2・武田弘3	1D03 地球環境試料への核磁気共鳴スペクトル法の適用(名大院環境)○西田民人・田上英一郎(20分)
1A04 西表島の自然環境に及ぼす酸性降下物の影響(1九大院理・2鹿児島大農・3地球研)○吉村和久1・宮崎貴史1・栗崎弘輔1・高嶋温子1・井倉洋二2・高相徳志郎3・中野孝教3	1B04 希土類元素存在度パターンとCe-Nd-Sr同位体系からみたカーボナタイトマagmaについて(名大院環境)林隆正・田中剛・伊藤正裕	1C04 炭素質物質からみた隕石母天体の熱履歴(九大院理)○北島富美雄・中村智樹	1D04 長期無人観測可能な海洋表層二酸化炭素センサーの開発(JAMSTEC)○中野善之・藤本徹一・渡邊修一(20分)
----- 休憩(15分) -----			
(10:45~11:45) 座長: 吉村和久	(10:45~11:45) 座長: 川本竜彦	(10:45~12:00) 座長: 北島富美雄	(10:40~12:00) 座長: 角皆潤・高橋嘉夫
1A05 二価遷移金属塩化物の結晶水和物-水和物-水蒸気系における水分子の水素同位体分別(学習院大理工)○垣内正久	1B05 フェロベリクレスのCr-XANESスペクトルから探る下部マントルの酸化還元状態(1東大院理・2産総研・3愛媛大地球深部)○福良哲史1・鍵裕之1・太田充恒2・美平武3・井上徹3・入松徹男3	1C06 隕石の衝撃脱ガスによる水素・炭素の同位体変化 - マーチソン隕石を用いて - (1名大院環境・2名大地球水循環セ)○岡本道意1・三村耕一1・杉谷健一郎1・阿部理1・橋本重将2	1D05 光学的手法を用いた溶存有機物の研究(名大院環境)○山下洋平・田上英一郎(20分)
1A06 環境水中トリウム測定簡素化2(1核融合科学研・2名大保健・3学習院大理工)○佐久間洋一1・緒方良至2・垣内正久3	1B06 ダイヤモンドに含まれる流体包有物の残留圧力とその起源(東大院理)○鍵裕之・福良哲史	1C07 マーチソン隕石のマクロモレキュラーカーボンからの衝撃によるD、13Cの選択的放出(1名大院環境・2名大地球水循環セ)○三村耕一1・岡本道意1・杉谷健一郎1・橋本重将2・阿部理1	1D06 Planar optode: 光を使った酸素やpHの二次元計測センサー - 原理と生物地球化学分野への適用 - (1JAMSTEC・2大工大・3マックスプランク協会・4コペンハーゲン大学)○小栗一将1・北里洋1・天尾豊2・ウェンズフォーファー・フランク3・グルド・ロニー4(20分)
1A07 水溶液の酸化還元電位測定手法の検討(1原研・2(株)神戸製鋼所・3(株)コバルコ科研)○井岡聖一郎1・岩月輝希1・加藤修2・今北毅3	1B07 逐次波数校正高精度3次元ラマンマッピング装置の開発(東大院理)○小竹翔子・福良哲史・鍵裕之	1C08 炭素質コンドライト中のタングステン同位体組成(東工大院地惑)○入澤啓太・平田岳史	1D07 海洋環境における溶存態タンパク質の動態を知るために: LC-MS/MSを用いた分子解析と蛍光基質を用いた分解酵素の解析(愛媛大沿岸環境セ)○大林由美子・浜岡一弘・鈴木聡(20分)
1A08 同位体比を指標とした陸域地下深部における炭素循環の考察(原研)○水野素・岩月輝希	1B08 顕微ラマン分光法による二酸化炭素流体の炭素同位体比測定法の開発(1東大院理・2京大地球熱学)○荒川雅1・山本順司2・鍵裕之1	1C09 コンドライト隕石の塩素の分布(濃度、同位体)はどこまでよくわかっているか? (1神戸大理・2海技大・3茨城大理工)○中村昇1・藤谷達也2・木村真3	1D08 MIMSを用いた海水溶存気体組成の in situ 高精度定量の可能性とその応用(北大院理)○大矢智之・今野祐多・中川書子・角皆潤(20分)

第1日(9月13日)ポスターセッション  
 【百年記念館ポスター会場】13:00~14:00立会説明(コアタイム)

陸水

1P01	テレメータ水質データを用いた河川水質動態の推定(東大院新領域)○福本 壘
1P02	琉球石灰岩地域における地下水の化学的研究—降雨による化学組成の変化—(琉大院理工)○渡久山久美・渡久山章
1P03	中央アジア・カザフスタン北東地域における陸水の特徴とウラン同位体(1金沢大低レベル放射能・2富山大理・3名大年代測定セ)○富田純平1・坂口綾1・佐竹洋2・中村俊夫3・山本政儀1
1P04	岐阜県東濃地域における水-岩石反応の地下水質に与える影響(1慶大院理工, 2原研)○徳山耕平1・鹿園直建1・岩月輝希2・水野崇2
1P05	西表島浦内川における河川水の化学的研究(琉大院理工)○伊敷 牧・崎浜 秀明・渡久山 章
1P06	阿蘇カルデラにおける赤水の硫黄同位体組成(1九大院理・2九大理・3岡山大院自然科学)○小川 啓太1・河谷 千華2・石橋 純一郎1・千葉 仁3

堆積物

1P07	宮城県及び鳥取県の鳴き砂の地球化学的考察(慶大院理工)○五十嵐智秋・鹿園直建
1P08	ペルーマージン海底堆積物におけるバリウムの分布および挙動(1学習院大院自然科学・2ライス大地球科学・3学習院大理)○土肥俊忠1・Glen Snyder・Gerald Dickens2・村松康行3
1P09	天然放射性元素U・Thの湖底堆積物情報—バイカル湖(1金沢大低レベル放射能・2金沢大自然計測応用)○坂口綾1・山本政儀1・富田純平1・落合伸也2・中川裕文2・柏谷健二2
1P10	山形県金丸地区におけるボーリングコア中のウラン系列核種の存在形態について(産総研)○金井豊・上岡晃・渡部芳夫
1P11	伊勢湾並びに大阪湾海底堆積物における微量元素の挙動と堆積環境(1武蔵工大エネルギー工学・2武蔵工大原子力研)○鈴木美咲1・本多照幸
1P12	日本全国沿岸海域の地球化学図の作成と元素分布の特徴について(産総研)○今井登・寺島滋・御子柴真澄・太田充恒・岡井貴司・立花好子・片山肇・野田篤
1P13	東濃ウラン鉱床周辺堆積岩中の炭酸塩の地球化学(慶大院理工)○土橋幸太・鹿園直建
1P14	南海トラフ、冷湧水域における海洋底堆積物の地球化学(筑波大院生命環境)○佐藤寿年・林謙一郎
1P15	インドDhawal Craton産縞状鉄鉱床における窒素・鉄同位体比組成に記録された初期地球表層環境(1阪大院理・2Universite du Quebec a Montreal et GEOTOP-UQAM-McGill)○荘山英敏1・橋爪光1・Cloquet Christophe2・Pinti Daniele2
1P16	河床堆積物の化学組成の経年・季節変動—矢田川の例—(1名大年代測定セ・2名大院環境)○南雅代1・伊藤知子2・田中剛2
1P17	IODP Exp.308で得られたメキシコ湾堆積物のバイオマーカー(1北大院理・2JAMSTEC)○齋藤裕之1・高野淑識1・鈴木徳行1・布浦拓郎2
1P18	メキシコ湾海底下の過剰圧流体移動と地下生物圏の深層掘削調査(序報)(1北大院理, 2JAMSTEC)○高野淑識1・齋藤裕之1・鈴木徳行1・三枝俊介1・角皆潤1・布浦拓郎2・IODP Exp308航海乗船研究者

岩石・地殻・鉱床

1P19	東北日本沖太平洋に存在する海山の地球化学的研究(1産総研・2神戸大理)○下田玄1・石塚治1・山下勝行2・吉武美和2・小笠原正継1・湯浅真人1
1P20	Determination of ultra-low level rare earth elements in ultramafic rocks by ICP-MS (JAMSTEC)○常青・中村謙太郎
1P21	深海調査により採取された岩石サンプルのデータベース化(1マリン・ワーク・ジャパン・2JAMSTEC)○岡別府陽子1・荻堂絵利子1・仲村亮1・曾野和彦1・華房康憲2・岩瀬 良一2・小松 徹史2・松永 富也2
1P22	同位体希釈法による標準岩石の塩素濃度の定量(統報)(1海技大工学・2神戸大理)○藤谷達也1・中村昇2
1P23	Li isotopic composition of mantle xenoliths from Avacha volcano, the Kamchatka arc: its relationship to subduction-related mantle metasomatism(1東大震研・2金沢大院自然科学)○金兌勲1・中井俊一1・荒井章司2
1P24	土岐花崗岩中のウラン、トリウム及びランタノイドの分布と挙動(武蔵工大)○坪井麻里子・本多照幸
1P25	Discovery of lanthanide tetrad effect in leucogranite from an Ocean Core Complex at the Central Indian Ridge, Indian Ocean(1JAMSTEC・2金沢大理・3新潟大院自然科学)○中村謙太郎1・常青1・森下知晃2・根尾夏紀3・熊谷英憲1
1P26	Sr, Nd, Pb同位体および微量元素組成からみた微量元素組成からみた由布・鶴見火山のマグマ起源(京大地球熱学)○杉本健・柴田知之・芳川雅子・竹村恵二
1P27	縞状鉄鉱床中の希土類元素一層ごとの化学分析値とSIMSによる局所分析値の比較—(1九大院理, 2ペンシルベニア州立大)○安松愛1・島田雄樹1・岡崎隆司1・本村慶信1・中村智樹1・岡上吉広1・大本洋2・横山拓史1
1P28	河口砂中ジルコンのウラン-鉛及びルテチウム-ハフニウム同位体組成から読み取る大陸地殻成長史(1東大震研・2東工大院地惑)○飯塚毅1・小宮剛2・李野修士2・丸山茂徳2・平田岳史2

地球外物質

1P29	CRコンドライトSahara00182に含まれるSiO <sub>2</sub> に富むコンドリュールリムの化学組成と形成過程(1九大院理・2神戸大理)○嘉数勇基1・中村智樹1・大西市朗2・岡崎隆司1
1P30	南極産非溶融微隕石の物質科学的特徴にもとづく宇宙塵の起源天体の推定(九大院理)○坂本佳奈子・中村智樹
1P31	レゴリス起源コンドライト隕石からみた小惑星表層物質の形成進化過程(九大院理)○横山立憲・中村智樹・岡崎隆司

課題講演-2

1P32	時間分解XAFS(Quick XAFS)法を用いた固液界面における化学反応のin situ観察~非晶質Mn酸化物によるAs(III)の酸化反応への適用~(広大院理)○光延聖・高橋嘉夫
1P33	海洋環境評価の新しい手法の確立-有機溶媒による沿岸堆積物からの金属元素抽出(名大院環境)○大野ひとみ・山本鋼志
1P34	吸光・蛍光ダイアグラムによる溶存腐植物質性質変化の新指標(阪大院理)○大塚高弘・中嶋悟
1P35	樹脂酸のタイマ摩擦粉塵指標としての有用性の検討(東京薬大生命科学)○森美佳・熊田英峰・高宮渉平・都筑幹夫・内田達也
1P36	有機態窒素の高感度安定同位体組成定量法開発と窒素固定速度定量への応用(北大院理)○角皆潤・木戸唯介・廣田明成・大久保智・小松大祐・中川書子

環境

1P37	XAFS法による金丸鉱山でのウランの存在状態の解明と挙動解析(1広大院理・2産総研)○山本祐平1・高橋嘉夫1・金井豊2・渡部芳夫2・清水洋1
1P38	フェニルアルソン酸の酸化鉄への吸着及び分解(広大院理)○嶋本洋子・高橋嘉夫
1P39	八丈島における土壌の地球化学的研究および植生に関する一考察(1産総研・2慶大院理)○久保田蘭1・鹿園直建2
1P40	粘土鉱物及び腐植物質への有機スズ化合物の吸着挙動の評価(広大院理)○藤本智成・高橋嘉夫
1P41	Pu同位体による中国海湖近代堆積史について(放医研・中国科学院)○鄭建1・吳豊昌2・山田正俊1・万国江2
1P42	固体高分解能NMRによるNa型モンモリロナイトの高アルカリ環境下における溶解及び変質に関する研究(1東工大原子炉工学研・2原研)○高橋貴文1・大塚貴洋2・池田泰久1
1P43	下水処理過程で発生するN2Oの同位体的特徴(1東工大院総合理工学・2科学技術振興機構・3東工大フロンティア創造共同セ)○藤原充1・豊田 栄1.2・奈良英樹2・木庭啓介1.2・吉田尚弘1.2.3
1P44	荒川上流中津川・神流川・河原沢川流域の地球化学図(1立正大地球環境・2国立科博)○新藤智子1・福岡孝昭1・佐野貴司2
1P45	シリカ系沈殿物の生成過程におけるアルミニウムの挙動(1九大院理・2栗田工業(株))○島田雄樹1・山口明子1・西田育子2・岡上吉広1・横山拓史1

温泉・熱水

1P46	房総半島における温泉水の地球化学特性(理科大理工)○村松容一・濱井昂弥
1P47	熱水系における炭酸塩-水溶液間の希土類元素分配挙動(名大院環境)○中野俊・川邊岩夫
1P48	ラウ海盆海底熱水系における熱水鉱床生成(1九大院理・2ニュージーランド核科学地質学研・3東工大地球史セ)○石橋純一郎1・鈴木遼平1・濱崎浩1・中野宏樹1・deRonde Cornel2・ditchburn Rovert2・上野雄一郎3

第1日(9月13日) 口頭発表 午後

【A会場】

一般講演「堆積物」

(14:00~15:30)座長:村松康行・豊田和弘

1A09 鍾乳石とトウファへの硫酸イオンの共沈(九大院理)○畑江久美・峯崎弘輔・吉村和久

1A10 琉球諸島に分布する赤土の起源について(1理研・2琉大理・3環境科学技術研)○吹矢貞代1・金山晋司1・古川雅英2・赤田尚史3

1A11 生物源硫酸塩の微量元素変動(1東大海洋研・2北大院理)○白井厚太郎1・高畑直人1・渡邊剛2・佐野有司1

1A12 南太平洋洋性堆積物に含まれる元素の供給源の推定(1東大院総合文化・2東大海洋研)○小豆川勝見1・佐野有司2・松尾基之1

1A13 塩素同位体効果に与える水との影響(1東大院総合文化・2上智大理工)○武蔵正明1・大井隆夫2・松尾基之1

1A14 沖縄トラフの亜酸化的堆積物におけるウランの沈着量(1放医研・2東大海洋)○山田正俊1・王中良1・鄭建1・加藤義久2

----- 休憩(15分) -----

(15:45~17:30)座長:山田正俊・松尾基之

1A15 南海トラフ海底堆積物間隙水に含まれるハロゲン元素(Br, Cl)の深度分布(1学習院大理・2東大院理・3ロッテスター大地球科学)○村松康行1・土肥俊忠1・松本良2・武内里香2・戸丸仁3・Fehn Udo3

1A16 琵琶湖と水月湖の堆積物コアから放射化分析で検出した複数の巻陵島テフラ(1北大院環境・2京大院理・3名大院環境・4国際日本文化研究セ)○豊田和弘1・篠塚良嗣1・竹村恵二2・北川浩之3・安田喜憲4

1A17 放射化分析法を用いた日本海・海底コア中のクワトテフラ検出法の検討(1北大院環境・2韓国地質資源研・3産総研)○任忠完1・豊田和弘1・千種華2・篠塚良嗣1・地原研3

1A18 海洋環境中におけるRe-Os分別に関する実験的研究:酸化還元条件とRe-Os分別の関連について(北大院理)○山下義郎・高橋嘉夫・清水洋

1A19 氷期-間氷期サイクルに伴う海洋のOs同位体変動(1東大院工・2早大理工・3JAMSTEC)○加藤泰浩1・大澤博1・藤永公一郎2・末谷真央1・鈴木勝彦3

1A20 光合成生物の指標としての化石ポルフィリンの窒素・炭素安定同位体組成分析(1東大院理・2JAMSTEC・3筑波大院地球物質)○柏山祐一郎1・2・小川奈々子2・カト嘉人2・菅寿美2・野本信也3・多田隆治1・北里洋2・大河内直産2

1A21 モンゴル・フスグル湖の湖底堆積物コアによる最終氷期から後氷期におけるユーラシア大陸北東部の環境変動の推定(1大妻女大社会情報・2静岡大環境科学研・3名大院環境)○井上源喜1・碓井千穂1・水澤沙織1・加納涼子1・佐藤知香1・谷幸則2・河合崇広3

【B会場】

一般講演「岩石・地殻」つづき

(14:00~15:30)座長:鍵裕之・山本順司

1B09 ストロンチウムの同位体分別と安定同位体地球化学への応用(東工大院理工)○大野剛・平田岳史

1B10 チャートの単層を用いたRb-Srイオンクオン年代決定とその地質学的意義(名大院環境)○中尾俊夫・田中剛

1B11 Double spike法を用いたTIMSによるSm安定同位体比測定法の開発(名大院環境)○若木重行・田中剛

1B12 南太平洋洋島玄武岩のタングステン同位体比測定 - コア-マントル相互作用の検証(1東大産研・2JAMSTEC)○賞雅朝子1・中井俊一1・サワー・ユービン1・羽生毅2

1B13 Early Cretaceous seawater Os isotope composition: an indicator of a LIP-OAE link?(1JAMSTEC・2Universita di Urbino・3University of Hawaii)○Tejada, M. L. G.1・鈴木勝彦1・坂本竜彦1・Coccioni, R.2・黒田潤一郎1・巽好幸1・Mahoney John3

1B14 Google Earthによるトモグラフィデータと地球化学データの統合利用システムとその応用(1JAMSTEC・2富士通)○鈴木勝彦1・山岸保子1・田村肇1・谷中洋司2・坪井誠司1

----- 休憩(15分) -----

(15:45~17:00)座長:鈴木勝彦

1B15 カルサイトの溶解に与えるアミノ酸の影響(東大院理)○吉野徹・鍵裕之

1B16 炭酸カルシウムおよびその他の炭酸塩鉱物に取り込まれた2価の希土類元素の探索(1東大院理・2産総研・3横浜国大教育人間科学)○森本温子1・鍵裕之1・太田充恒2・津野宏3

1B17 4f電子雲拡大大系列:Ln(III)化合物熱化学データの四組効果とRSPET式から求められるラウー・パラメータの大小関係(名大院環境)○川邊岩夫

1B18 プレート内型と島弧型マグマの競争的活動と九州三分裂(1九大院比較社会文化・2秋田大工学資源・3環境科学技術研・4福岡大理)○北遠郎1・浅川敬公2・由利努2・安井光夫2・山元正継2・長谷川英尚3・田口

1B19 地球化学データの独立成分分析とマンツルの物質循環(東大院理)○岩森光

【C会場】

一般講演「地球外物質」つづき

(14:00~15:45)座長:三村耕一・橋吾吾

1C11 炭素質隕石中高分子状有機物の炭素・水素同位体比分布(岡山大理)○大場康弘・奈良岡浩

1C12 宇宙線によるタイタン下層大気中の複雑有機物の生成(1横国大院工・2北大院理)○谷内俊範1・細貝知弘1・佐藤康之1・金子竹男1・高野淑織2・小林憲正1

1C13 Shergottites(火星隕石)の化学組成から推定した火星での火成活動(1都立大院理・2首都大東京院理工)○白井直樹1・海老原充2

1C14 Ningqiang炭素質コンドライトの水質変質実験における鉱物・希ガス組成変化のアルカリ度依存性(1東大院理・2九大院理・3茨城大理)○山本征生1・中村智樹2・野口高明3・長尾敬介1

1C15 隕石中の希ガス濃縮物質の物理的分離と炭素質物質の特性について(1阪大院理・2フジント大宇宙物理・3東京医歯大教養)○松田准一1・松尾行浩1・西村智佳子1・甘利幸子2・奈良雅之3

1C16 鉄隕石中chromite包有物に見られる希ガス同位体組成(1阪大院理・2ウィーン大地球)○西村智佳子1・松田准一1・クワート・ゲロ2

1C17 水質変成によるCM2マーチソン隕石中の希ガス成分の変化(阪大院理)○塚本英智・西村智佳子・松田准一

課題講演5「地球化学の立場から見た新しい科学教育」

(16:00~18:00)座長:瀧上豊・津野宏

1C18 日本地球惑星科学連合による科学リテラシー教育の提案(関東学園大法)○瀧上豊

1C19 地学フィールド実習としての地球化学図作成(名大院環境)○田中剛

1C20 大和川水系の富栄養化の拡大と原因-環境科学普及活動としての水質調査(1大阪市大理・2大阪市立自然史博物館)○益田晴恵1・中条武司2・李曉東1

1C21 初等・中等理科を教える教員とは? - 教員養成課程の現状と課題を理科の先生の育成という視点から考える - (横浜国大教育人間科学)○津野宏

1C22 教員養成の立場で考える新しい科学教育(宮城教育大教育)○猿渡英之

1C23 金と豆腐と温泉の科学(金沢高校)○四ヶ浦弘(30分)

総合討論

【D会場】

課題講演2「環境地球化学の手法・新指標」つづき

(14:00~15:20)座長:谷本浩志・遠嶋康徳

1D09 GC x GCの環境分析への適用(ゲステル(株))○落合伸夫(20分)

1D10 大気-海洋間ガス交換のトレーサーAPOとその応用(国立環境研)○遠嶋康徳(20分)

1D11 超長光吸収分光法(CRDS)の大気計測への応用(1京大院工・2名大太陽地球研・3名大院環境)○中山智喜1・松見豊2・川崎昌博1・井上元3(20分)

1D12 プロトン移動反応-飛行時間型質量分析計による有機化合物の多成分リアルタイム検出(国立環境研)○谷本浩志・猪俣敏(20分)

----- 休憩(10分) -----

(15:30~16:50)座長:角皆潤・高橋嘉夫

1D13 フラグメンテーションを利用した安定同位体比質量分析法:微量気体成分への適用(1東工大総合理工・2東工大地球史研・3東工大フロンティア創造共同セ)○豊田栄1・ダニエラエラ・セバステアノ1・上野雄一郎2・吉田尚弘3(20分)

1D14 四種硫黄同位体分析:硫黄循環に関する新たな知見(東工大地球史研)○上野雄一郎(20分)

1D15 Nano-SIMSを用いた極微小粒子の硫黄同位体計測(1東工大院理工・2東大海洋研)○西澤洋1・高畑直人2・佐野有司2(20分)

1D16 三酸素同位体組成を指標に用いた環境水中の硝酸の起源解明(北大院理)○中川書子・大久保智・小松大祐・石村豊徳・廣田明成・木戸唯介・川口慎介・角皆潤(20分)

----- 休憩(10分) -----

(17:00~18:20)座長:谷本浩志・遠嶋康徳

1D17 高山で採取した降水・霧水の硝酸寄与比と酸性成分/海塩成分比による対流圏中・上層エロソルの化学組成の推定(1富山市科学文化セ・2富山県大環境システム工・3名大地球水循環セ・4金沢大院自然科学)○朴木英治1・渡辺幸一2・榎山哲哉3・早川和一4(20分)

1D18 MAX-DOAS法による対流圏NO2とエアロソルの同時観測(JAMSTEC)○入江仁士・金谷有剛・秋元肇・岩淵弘信(20分)

1D19 エアロソルの起源推定へのn-alkanesの個別化合物炭素安定同位体比の応用 - 富士山頂でのシベリア森林火災煤煙シグナルの検出(1農工大農・2産総研・3江戸川大社会)○高田秀重1・東後綾子1・兼保直樹2・土器屋由紀子3(20分)

夜間小集会(18:30~20:00)

- 1) 理科教育において日本地球化学会の果たすべき役割
2) 学会の活性化と会員増加への取り組み

第2日(9月14日) 口頭発表 午前

【A会場】

一般講演「環境」

(9:15~10:30)座長:高田秀重

2A01 感度解析によるN2O濃度規定因子の評価(産総研・2東工大フロンティア創造共同研)○但根正夫1・吉田尚弘2

2A02 家畜排泄物の堆肥化過程で発生する一酸化二窒素の安定同位体比測定(1東工大総合理工・2岡山県総合畜産センター・3農業・食品産業技術総合研・4東工大フロンティア創造共同研)○深澤真1・豊田栄1・白石誠2・長田隆3・木庭啓介1・吉田尚弘4

2A03 鍾乳石の炭素同位体から読み取るカルスト地域の植生変遷(九大院理)○栗崎弘輔・吉村和久

2A04 閉鎖性水域における重金属の挙動と環境汚染(慶大院理工)○大友一夫・鹿園直建

2A05 HPLC法とXANES法による水一土壌両相の存在状態決定に基づくケルルおよびセレンの水一土壌分配挙動の解明(広大院理)○原田哲平・光延聖・高橋嘉夫

----- 休憩(15分) -----

(10:45~11:45)座長:太田充恒

2A06 愛知県犬山市東部の中・古生層分布地域の地球化学図とヒ素と金の挙動(1名大院環境・2名大年代測定総合研)○伊藤知子1・田中剛1・南雅代2

2A07 バングラデシュ中東部、Sonargaon地域におけるヒ素汚染地下水の形成機構—XAFSを用いたアプローチ—(1広大院理・2大阪大院理・3筑波大地球科学・4岡山大地球物質科学研・5筑波大地球科学)○板井啓明1・益田晴恵2・高橋嘉夫1・三田村宗樹2・丸岡照幸3・日下部実4・Seddiq Ashraf2・Kazi Matin

2A08 錯生成が及ぼすイオンの拡散挙動への影響(広大院理)○古川賢吏・高橋嘉夫

2A09 Fe(II)/Fe(III)混合水酸化物(Green rust)によるSb(V)の非生物還元反応(広大院理)○光延聖・高橋嘉夫

【B会場】

一般講演「温泉・熱水」

(9:00~10:30)座長:小林憲正・中川書子

2B01 熱水条件下における堆積物中のアミノ酸の吸着と溶出(1大阪市大院理・2JAMSTEC・3東大院新領域)○伊藤美穂1・Gupta Lallan2・益田晴恵1・川幡穂高3

2B02 インド洋における海底熱水の化学組成:かいりいフィールドとエドモンドフィールドの比較(1東大院理 2北大院理 JAMSTEC, 4九大院理, 5東大海洋研)○土岐知弘1・角皆潤2・高井研3・石橋純一郎4・蒲生俊敏5

2B03 中部沖縄トラフ伊平屋海嶺北部海丘熱水域で採取されたコア試料から見た海底下の熱水分布と水一岩石反応(1九大院比較社会文化・2九大院理・3筑大院理工・4北大院理・5JAMSTEC・6東大海洋研)○山中寿朗1・鈴木遼平2・濱崎浩2・石橋純一郎2・光成智美1・野口琢郎3・角皆潤4・井尻暎4・木下正高5・声

2B04 プラスチックシンチレータを用いた現場型ラドンセンサの開発(1電中研・2(株)セレス)○下島公紀1・唐沢邦彦2・前田義明2・宮川公雄1

2B05 酸素キャリアを用いたμ-TCD Gas Chromatographによる温泉ガスの連続自動測定システムの構築(名大院環境)○宮川和也・川邊岩夫

2B06 草津白根山山頂火口湖水釜の水質変化について(上智大理工)○井上綾・池畑梢・木川田喜一・大井隆夫

----- 休憩(15分) -----

一般講演「有機物」

(10:45~12:00)座長:山中寿朗

2B07 南シナ海南部海底堆積物中の脂肪酸による過去15万年間の環境変動(1北大院環境・2北大低温研・3台湾海洋大応用地球科学研)○伊藤祐輔1・山本正伸1・関幸1・河村公隆2・陳明德3

2B08 Cascadia Margin Gashydrate地域における堆積物中の脂質バイオマーカー(1岡山大院自然科学2岡山大院理)○金子雅紀1・奈良岡浩2・IODP Expedition 311 Scientists

2B09 カスカディア縁域における微生物によるメタン生成について(産総研)○吉岡秀佳・東陽介・執印訓子・坂田将・中村孝道・丸山明彦

2B10 サンゴ礁、海草藻場、マングローブ林生態系における主要1次生産者と堆積物中のバイオマーカー(産総研)○坂田将・山室真澄

2B11 海洋脂質に関する研究(名大院環境)○西田民人・田上英一郎

【C会場】

課題講演4「核・放射化学と宇宙・地球化学の接点」

8:55 趣旨説明(首都大東京院理工)海老原充

(9:00~9:45)座長:高橋嘉夫

2C01 超新星による初期太陽系消滅核種合成の可能性(1東大院理・2東大院理・3ハワイ大地球物理)○瀧川晶1・三木順哉1・橋省吾2・Gary R. Huss3

2C02 CM炭素質コンドライトの原始的同位体比特性(1九大院理・2茨城大院理・3九大院理・4東京流星ネットワーク)○中村智樹1・野口高明2・岡崎隆司3・城後香里3・大塚謙仁4

2C03 鉄隕石のHF-W年代:宇宙線照射による同位体組成変化の影響について(1東工大院理工・2JAL InfoTech)○平田岳史1・入澤啓太1・柴田千明1,2

(9:45~11:00)座長:中村智樹

2C04 鉄隕石Gibeonの希ガス同位体分析(1東大院理・2東大物性研)○馬上謙一1・山本征生1・長尾敬介1・本田雅健2

2C05 中性子捕獲反応によるSm, Gd同位体比変動を用いた惑星物質のキャラクタリゼーション(広大院理)○日高洋

2C06 火星隕石NWA2737の希ガス同位体組成(1東大院理・2NASA)○長尾敬介1・朴芝鮮2

2C07 火星隕石の同位体年代学(極地研)○三澤啓司

(11:00~12:15)座長:日高洋

2C08 深海底堆積物から選別した球粒試料の生成機構について(1京大原子炉・2日大文理・3首都大東京院理工)○関本俊1・小林貴之2・海老原充3・高宮幸一1・柴田誠一1

2C09 南極産オーディナリー・コンドライト中のハロゲン元素の存在度(1学習院大理工・2首都大東京院理工)○柴剣宇1・村松康行1・海老原充2

2C10 島弧火山岩試料のBe同位体比分析(1東大院理・2東大院工)○後反克典1・中井俊一1・松崎浩之2

2C11 消滅核種182Hf, 107Pdを用いたコア・マントル相互作用の検証の試み(東大院理)○中井俊一・サフー・ユベリン・賞雅朝子・アリ・アルシャット

2C12 消滅核種の半減期—現状と53Mnの再測定—(首都大東京院理工)○大浦泰嗣・海老原充

2C13 高感度XAFS法を用いたモリブデンイット中の放射線量変動源オスミウムおよびレニウムの状態分析(1広大院理・2高輝度光科学研・3JAMSTEC)○高橋嘉夫1・宇賀賀朋哉2・谷田肇2・寺田靖子2・鈴木

【D会場】

課題講演1「東アジア・太平洋域におけるエアロソールと関連気体成分の地球化学」

9:00 趣旨説明(北大低温研)河村公隆

(9:10~10:30)座長:植松光夫

2D01 中国北京市におけるエアロソール中多環芳香族炭化水素類(PAHs)と微量金属及び水溶性イオン成分の長期的動向(1東大院理・2清華大環境)○奥田知明1・勝野正之1・直井大輔1・田中茂1・He Kebin2・Ma Yongliang2・Lei Yu2・Jia Yingtao2・Zhang Dihan2(20分)

2D02 Molecular, Seasonal and Spatial Distributions of Organic Aerosols from Fourteen Chinese Cities (1北大低温研・2Hong Kong Polytechnic Univ.・3Chinese Acad. Sci.) ○Wang Gehui1・河村公隆1・Lee Shuncheng2・Ho Kinfa2・Cao Jung3(20分)

2D03 中国上空における水溶性有機物の高度分布:冬、夏、春における航空機観測(1北大低温研・2国立環境研・3中国環境科学院)○河村公隆1・渡辺智美1・持田隆宏1・島山史郎2・高見昭憲2・Wang Wei3(20分)

2D04 エアロソール中のカルシウム鉱物に占める石膏の割合—XANES法の適用—(1広大院理・2理研・3産総研・4中国科学院)○三好拓朗1・高橋嘉夫1・矢吹貞代2・金井豊3・張仁建4・清水洋1(20分)

----- 休憩(15分) -----

(10:45~11:45)座長:河村公隆

2D05 2004年に沖縄で観測されたエアロソール中のn-アルカン類の組成分布と季節変化(1中国環境科学院・2国立環境研)李紅1・O佐藤圭2・島山史郎2(20分)

2D06 沖縄辺戸岬および小笠原父島でのsulfateの長時間観測(1産総研・2国立環境研)○栗保直樹1・高見昭憲2・島山史郎2(20分)

第2日(9月14日)ポスターセッション  
【百年記念館ポスター会場】13:00~14:00立会説明(コアタイム)

有機物

2P01	シアノバクテリアの珪化実験:顕微赤外分光法による加熱その場観測(1東工大院理工・2阪大院理)○伊規須素子・丸山茂徳・太田啓之・下嶋美恵1・上野雄一郎1・横山正2・中嶋悟2
2P02	南東フランス、白亜紀海洋無酸素事変層準における芳香族チオフェンおよびフラン分析(北大院理)○岡野和貴・沢田健・高嶋礼詩・西弘嗣
2P03	秋田・新潟・北海道の天然ガスの炭化水素組成:根源有機物のタイプが炭化水素組成に及ぼす影響(産総研)○猪狩俊一郎・前川竜男・鈴木祐一郎
2P04	千葉の水溶性天然ガス付随水の同位体組成(産総研)○前川竜男・猪狩俊一郎・金子信行
2P05	表面錯体モデルとEXAFS法を用いたバクテリアへの希土類元素の分配パターンの解釈(広大院理)○平田多恵子・久保有砂・高橋嘉夫
2P06	クロロフィルの続成変化の化学的解明(5)ー地層有機物の熱熱成とベンゾポルフィリン生成の相関ー(1筑波大数理物質科学・2筑波大化)○佐藤充1・野本信也2・三田肇2・木越英夫2
2P07	南中国原生代/顕生代境界層中の炭化水素組成(1東工大院総合理工学・2東工大地球史セ・3東工大院理工)○佐々木一謹1・上野雄一郎2・山田桂大1・吉田尚弘1・丸山茂徳3
2P08	脂質バイオマーカー分析による南海トラフ深部堆積物中における古細菌の活動実態の解析(産総研)○大庭雅寛・坂田将
2P09	始生代堆積岩ボーリング試料中のホパン・ステラン類の濃度分布(1岡山大院自然科学・2鹿大院理工・3岡山大理)○安藤仁人1・山口垂矢2・寺島和也2・奈良岡浩3・根建心真2
2P10	パキスタン、アフガニスタン産Oil Quartzの炭化水素包有物組成(東大院理)○萩原成騎

課題講演-4

2P11	原始太陽系におけるCm-247の存在度に関する考察(1学習院大理・2首都大東京理)○柴剣宇1・海老原充2
2P12	隕石中の宇宙線照射起源および核分裂起源 Kr and Xe(東大震研)○三浦弥生
2P13	クロム同位体を使った初期太陽系物質の起源と年代に関する研究(1岡山大学・2神戸大学)○山下勝行1・上田哲彦2

課題講演-1

2P14	西経160度線に沿った南緯10度から北緯53度までの海洋大気中エアロゾルの主要無機イオンの動態(東大海洋研)○真野佑輝・植松光夫・成田祥・岩本洋子・井口秀憲
2P15	中部北太平洋における大気エアロゾル中の微量金属成分の挙動(東大海洋研)○井口秀憲・成田祥・真野佑輝・岩本洋子・植松光夫
2P16	2005, 2006年東大阪市で観測された黄砂粒子の個別起源解析(1近大理工・2近大院総理工)○中口謙1・濱田寛2・境真一2・須山祐樹1・佐野到1・向井苑生1
2P17	雨水中に含まれる風送塵のSr・Nd同位体組成に関する季節変化と年変化(九大院理)○宮本知治・浜本礼子
2P18	2005年冬期に沖縄で観測されたエアロゾル中の多環芳香族炭化水素類のHPLC分析(1筑波大院環境科学・2国立環境研)○田中友里愛1・佐藤圭2・畠山史郎2
2P19	韓国Cheju島におけるエアロゾル中多環芳香族炭化水素およびバイオマス燃焼由来指標成分の季節変化(1東京薬大生命科学・2産総研・3Cheju National Univ)後藤優1・○熊田英峰1・兼保直樹2・Kang Chang-Hee3・都筑幹夫1・内田達也1
2P20	炭素安定同位体比から推定された外洋域大気中における海洋起源非メタン炭化水素の寄与(1科学技術振興機構・2東工大フロンティア創造セ)○奈良英樹1・吉田尚弘2
2P21	Seasonal variation of dicarboxylic acids and related polar compounds at Gosan, Cheju Island(北大低温研)○Kundu Shuvashish・河村公隆・持田陸宏・Meehye Lee
2P22	済州島, Gosanサイトにおける大気エアロゾル中の脂質成分の分布と季節変化(北大低温研)○狩谷直・河村公隆・持田陸宏・Meehye Lee
2P23	東京における半揮発性カルボニル化合物の分布:気相における経時変化(1北大院環境, 2北大低温研, 3東大先端研, 4国立環境研)○奥沢和浩1,2・持田陸宏2・河村公隆2・James Bendle2・Haobo Wang2・近藤豊3・横内陽子4・白井知子4

大気・降水

2P24	東海村大気中のブラックカーボンエアロゾルの形態と吸光特性(原研)○付鳳富・渡部和男・篠原伸夫
2P25	沖縄島における降水の化学的特性(筑大院理工)○崎濱秀明・伊敷敦・渡久山章
2P26	1964年並びに2000年福岡降下物から見た大気環境の変動(1武蔵工大原子力研・2武蔵大院エネルギー量子工学・3気象研)○本多照幸1・北原照央2・廣瀬勝己3・五十嵐康人3・青山道夫3
2P27	青森県内で採取した降水中硫酸イオンの硫黄同位体比(1環境科学技研・2東北ニュークリア(株)・3山形大理)○赤田尚史1・佐藤忠広2・長谷川英尚1・川端一史1・築地由貴1・古川 郁2・西村幸一2・柳澤文孝3・近藤邦男1
2P28	東京と福岡における大気中の7Be・10Be濃度の同期観測(1日大院総合基礎科学・2九大RIセ・3九大院理・4日大文理)○山形武靖1・杉原真司2・森永一朗3・永井尚生4

海洋

2P29	南極・ロス海における亜表層過飽和メタン増大の欠如(1北大院理・2東大海洋研・3北大院水産・4遠洋水研)○亀山宗彦1・井口剛一郎1・中川書子1・角皆潤1・蒲生俊敏2・野入善史3・永延幹夫4
2P30	二酸化マンガンへの白金錯イオンの吸着挙動(1九大院理・2広大院理)○山下真美子1・谷口智則1・高橋嘉夫2・岡上吉広1・横山拓史1
2P31	安定同位体組成を指標に用いた北太平洋亜熱帯海域における窒素循環解析(北大院理)○木戸唯介・角皆潤・中川書子・小松大祐・廣田明成・大久保智
2P32	南大洋堆積物中の海水起源成分と陸源砕屑物成分のSr, Nd同位体組成(名大院環境)竹内ふみ・○浅原良浩
2P33	北太平洋亜熱帯域における海水中の溶存水素分子濃度分布定量とその起源(北大院理)○今野祐多・木戸唯介・角皆潤・中川書子
2P34	キレート吸着体カラムを用いる海水中生物活性微量金属の分析及び東部太平洋観測への適用(京大化研)○則末和宏・漆原聖平・清水明愛・宗林由樹
2P35	南大洋、南太平洋海水中の7Be, 10Beの分布(1日大院総合基礎科学・2日大文理)○田熊栄一1・斎藤千春1・山形武靖1・斎藤敬2・永井尚生2
2P36	西部北太平洋における深海底のオパール(産総研)○柴本陽子・原田晃
2P37	228Ra/226Ra比の季節変動からみた日本海沿岸海水循環(金沢大自然計測セ)○田中究・井上睦夫・小藤久毅・小村和久
2P38	津軽暖水および混合水域における226Ra, 228Ra分布(1日本海洋科学振興財団・2金沢大自然計測セ)○小藤久毅1・井上睦夫2・田中究2・小村和久2
2P39	溶存非メタン炭化水素炭素安定同位体比分析手法の開発(北大院理)○古用啓介・小松大祐・中川書子・角皆潤・井尻暁
2P40	サンゴ骨格中の酸素同位体比記録による冬期水温の高精度復元(1慶大院理, 2東大新領域, 3産総研)角田知明1・川幡穂高2・鈴木淳3・藁島佳代3・鹿園直建1
2P41	地球初期のマントル-生命相互作用を探るための海水-超マフィック岩の熱水反応実験(JAMSTEC)○鈴木勝彦・中村謙太郎・熊谷英憲・稲垣史生・高井研

課題講演-3

2P42	伊豆小笠原弧における希ガスの循環(1東大院理・2東工大院理工・3東大海洋研)○清水綾1・角野浩史1・長尾敬介1・野津憲治1・平野直人2・町田嗣樹3・石井輝秋3
2P43	火山ガス凝縮水中の塩素同位体組成に関する研究(1東大院総合文化・2ユトリヒト地球科学)○武蔵正明1・エッゲンカンブ・ハンス2

その他

2P44	産総研地球化学標準物質JSd-4(河川堆積物)の調製とその共同分析結果及び再調製試料JB-2a・JB-3a(玄武岩)について(産総研)○岡井貴司・寺島滋・今井登・御子柴真澄・太田充恒・久保田蘭
2P45	ケイ素同位体比測定のためのフッ酸を用いたフッ化ケイ素調整法の試み(1農工大農, 2九大院理)栗原裕史1・赤木右2
2P46	ICP-MSを用いた微量岩石中のホウ素およびHFS元素の分析(1マリン・ワーク・ジャパン・2JAMSTEC)○永石一弥1・石川剛志2・谷水雅治2
2P47	標準岩石試料中の微量鉛同位体比測定とその起源の考察(1マリン・ワーク・ジャパン・2JAMSTEC)○松岡淳1・谷水雅治2・石川剛志2
2P48	セリウム・ネオジムの高精度安定同位体比分析法の開発(東工大院理工)○大野剛・平田岳史
2P49	固液両相での存在状態決定に基づく水-土壌環境中でのアンチモンおよびヒ素の挙動解明(1広大院理・2大同工大教養)○光延聖1・原田哲平1・酒井洋一2・高橋嘉夫1
2P50	黒潮流軸変動にともなう混合期から成層期の駿河湾奥部海域の水質環境変化(東海大海洋)○萩原直樹

第2日 (9月14日)

2006年度日本地球化学会学会賞等受賞記念講演

【百周年記念館小ホール】 15:30～17:50

**日本地球化学会・奨励賞**

15:30～15:50 海底熱水系における生物-地質相互作用の解明に関する研究  
高野淑識 -----北海道大学大学院理学院

15:50～16:10 消滅核種  $^{60}\text{Fe}$  初生存在度に基づく初期太陽系誕生・進化に関する研究  
橘 省吾 -----東京大学大学院理学系研究科

16:10～16:30 マントル起源鉍物中の流体包有物を用いた沈み込み帯の物質循環系の研究  
山本順司 -----京都大学大学院理学研究科

**日本地球化学会・学会賞**

16:40～17:15 酸素同位体局所精密分析法の開発とそれを用いた太陽系初期の酸素同位体不均一に関する研究  
坂本尚義 -----北海道大学大学院理学院

**日本地球化学会・柴田賞**

17:15～17:50 地球化学的手法によるテクトニクス場と地下深部の研究  
杉崎隆一 -----名古屋大学 (名誉教授)

第3日(9月15日) 口頭発表 午前

【A会場】

一般講演「大気・降水」

(9:30~10:45) 座長: 益田晴恵・奥田知明

3A01 炭素・酸素安定同位体比を利用した東シベリアタイガ林における土壌CO<sub>2</sub>の挙動に関する研究(1:北大院環境・2:ロシア科学アカデミー)○樋引令子1・杉本敦子1・Trofim C. Maximov2

3A02 南極氷床ドームふじ浅層コアの安定同位体比と化学成分の主成分分析(1:東大院理・2:極地研・3:茨城大理・4:理研)○山根雅子1・本山秀明2・植村立2・三宅隆之2・北和之3・五十嵐誠4

3A03 大気中硫黄発生源の歴史変遷: 樹木年輪に記録されていた同位体的証拠(1:(財)九州環境管理協会・2:九大Rtセ)○川村秀久1・松岡信明1・百島則幸2

3A04 降水への大気中粒子状水銀の取り込み: わが国の水銀の湿性沈着量に対する寄与率推定(1:静岡県大環境科学研・2:電中研)○坂田昌弘1・朝倉一雄2

3A05 最近のつばの降下物中のブルトニウムについて: 地殻起源のトリウムとの比較(気象研)○廣瀬勝己・五十嵐康人・青山道夫・篠田佳宏

【B会場】

一般講演「生物」

(9:30~10:15) 座長: 赤木右

3B01 鎌倉古人骨のストロンチウム同位体比(名大年代測定セ)○南雅代・中村俊夫

3B02 核実験起源14Cの経年変動の科学捜査への応用(名大年代測定セ)○中村俊夫・南雅代・小田寛貴・渡邊隆広・太田知子

3B03 大タ張地域の白亜紀植物化石のバイオマーカーおよび抵抗性高分子分子分析~化学分類および古植物相の検討(北大院理)○中村英人・沢田健

3B04 新第三紀植物化石の抵抗性高分子の分子内炭素同位体分布と古気候・古生物学への応用(北大院理)○沢田健・荒井高明

3B05 二枚貝における希土類元素パターンの生物指標としての可能性の評価(1:農工大院農・2:九大院理)○枝浪圭介1・赤木右2

3B06 風化が植物の生理現象であることの実験的証明(1:九大院理・2:農工大院連合農学)○赤木右1・アクター・メルナ2

3B07 微化石様構造を含む太古代(34億年)炭素質チャート堆積環境と希土類元素組成(名大院環境)○杉谷健一郎・三村耕一・山本鎮志

3B08 GC/C/IRMSによるアミノ酸の分子レベル安定同位体比分析: 生体アミノ酸の窒素同位体変動メカニズムの解明と生態学研究への応用(JAMSTEC)○カ石嘉人・柏山祐一郎・多田洋平・豊福高志・小川奈々子・北里洋・大河内直彦

3B09 魚類ウロコのアミノ酸窒素安定同位体比を用いた生物学的窒素循環の解析(JAMSTEC)○小川奈々子・カ石嘉人・和田英太郎・北里洋・大河内直彦

【C会場】

一般講演「海洋」

(9:15~10:15) 座長: 小畑元

3C01 微小試料を用いたサンゴ骨格中の鉛同位体比測定法の開発(1:JAMSTEC・2:産総研)○谷水雅治1・井上麻夕里2

3C02 造礁サンゴ、冷水サンゴ、深海サンゴの骨格の酸素・炭素同位体比の挙動について(1:産総研・2:高知大海洋生物・3:金沢大理・4:金沢大院工・5:東大院理・6:東大海洋研)○鈴木淳1・岩崎望2・渡辺舞2・井上麻夕里1・藁島佳代1・長谷川浩4・横山祐典5・川幡穂高6

3C03 生物起源アラレ石にみられる速度論的効果(1:東大海洋研・2:産総研・3:東大院理)○川幡穂高1・鈴木淳2・井上麻夕里2・横山祐典3

3C04 石垣島白保サンゴ礁における造礁性サンゴの骨格成長メカニズムー轟川河口に生息するハマサンゴの酸素・炭素同位体比解析ー(1:北大院理・2:東大海洋研・3:WWF ジャパン・4:韓国海洋研究院・5:北大院環境)○川島龍憲1・渡邊剛1・白井厚太郎2・前川聡3・島村道代4・入野

(10:30~12:00) 座長: 中口讓・下島公紀

3C05 蛍光X線分析法による海水中懸濁粒子の化学分析(東大海洋研)○岩本洋子・成田祥・植松光夫

3C06 キレート繊維カラム濃縮-ICP-MSによる海水中Pd, Pt, Auの分析(1:京大化研・2:高人大理)○宗林由樹1・里泰志1・稲田慶子1・則末和宏1・八田真理子2・張勁2

3C07 日本海大和堆および沿岸周辺海域における226Ra, 228Raおよび137Cs濃度の鉛直分布(1:金沢大自然計測応用研・2:海洋生物環境研)○田中実1・井上睦夫1・御園生浮2・小村和久1

3C08 固相-水溶液相間のYとHoの分別と固相中のYとHoの局所構造の関係(北大院理)○田中万也・高橋嘉夫・清水洋

3C09 西部北太平洋における鉄散布実験中の希土類元素の挙動(1:東大海洋研・2:理研)○小畑元1・原慈子1・土井崇史1・本郷やよい2・蒲生俊敬1

3C10 海洋表層における希土類元素の供給・水平輸送過程の解明(東大海洋研)○田副博文・小畑元・蒲生俊敬

【D会場】

課題講演3「固体地球の脱ガスに係わる地球化学」

(9:10~12:00) 座長: 野津憲治・佐野有司

9:10 課題討論を始めるにあたって(東大院理)小嶋稔

3D01 御前崎500m井で観測されたメタンの時間変化について(東大院理)○角森史昭・野津憲治

3D02 地震に関連した地下水の応答: 2004年鯛路沖の地震(M7.1)における地下水位の変化(1:北海道立地質研・2:産総研・3:北大院理)○柴田智郎1・秋田藤夫1・岡崎紀俊1・松本剛夫2・高橋浩亮3・池田隆司3

3D03 兵庫県南部地震前に観測した大気中ラドン濃度変動の臨界現象モデルへの適用(1:神戸薬科大・2:新潟大理・3:放医研)○安岡由美1・橋本哲夫2・石川徹夫3・床次真司3・志野木正樹1

3D04 FT-IR分光放射計による阿蘇中岳火山ガス化学組成の遠隔観測(東大院理)○森俊哉・野津憲治

3D05 草津白根山火山口湖湯釜の化学組成経年変化から推定するマグマ脱ガスモデル(東工大火山流体セ)○大場武・平林順一・野上健治

3D06 カメルーン ニオス湖・マヌーン湖のガス抜き進捗(1:韓国地地研・2:カメルーン地調・3:東工大火山流体セ・4:シガン大・5:米国地調)○日下部実1・イザ・イサ2・大場武3・タニレケ・グレッグ2・クリング・ジョージ4・エバンス・ビル5

3D07 大阪平野に胚胎する温泉の希ガス水文地球化学ー地球表層付近における希ガスについてー(1:産総研・2:大阪市大院理)○森川徳敏1・風早康平1・高橋正明1・益田晴恵2・李曉東2・高橋浩1・大和田道子1・仲間純子1・半田宙子1

3D08 日本列島におけるヘリウム同位体比の分布と地震波トモグラフィー(1:東大海洋研・2:東北大院理)○佐野有司1・高畑直人1・堀口桂香2・植木貞人2・中島淳一2・長谷川昭2

3D09 高圧下でのシリカメルトへのAr溶解度(1:阪大院理・2:東大物性研)○宮川千絵1・松田准一1・丹羽健2・八木健彦2

3D10 Noble gas in the deep mantle as inferred from a new noble gas dataset from Lohi basaltic glasses (1:Osaka Univ. 2:Univ. Tokyo) Takuya Matsumoto1・Jun-ichi Matsuda1・Yuji Orihashi2

3D11 地球深部における非脱ガス部分の存在とその化学的環境(東大震研)○兼岡一郎